

YAMAHA COMBO ENSEMBLE

CE25

取扱説明書

このたびはヤマハ、コンボアンサンブル CE25 をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

CE25 は軽量、コンパクトなボディながら、音源としてFM方式を採用、美しく、ナチュラルなサウンドを実現、ステージでのリードキーボードとしてだけでなく、気軽にホームコンサートも楽しめる、オールマイティなキーボードです。

コンボアンサンブル CE25 を正しく、また末永くご愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

| 目次 | ページ |
|--------------|-----|
| アテンション・プリーズ | 1 |
| セット・アップ | 2 |
| コネクション | 4 |
| レッツ・プレイ | 6 |
| サウンドバリエーション | 7 |
| フィンガー・フィーリング | 8 |
| バイブレーション | 10 |
| スペック | 11 |

アテンション・プリーズ

いつまでも末永くご愛用いただくために、つぎのことがらにご注意ください。



設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- 温度の特に低い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 振動の多い場所



無理な力を加えない

スイッチやつまみ類に無理な力を加えることは避けてください。



電源コードも大切

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードをひっぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。外出などで長時間ご使用にならないときは、電源コードのプラグをコンセントからはずしてください。

※本機は国内仕様です。必ず AC100V の電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V 以外(例えば 200V)の電源には絶対に接続しないでください。



セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。



接続について

4 ページの「コネクション」をよく読み、正しく接続をしてください。

また、スピーカー破損防止のため機器接続の際は、それぞれの電源スイッチを OFF にしてからおこなってください。



外装のお手入れには

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。

お手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合には実費をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。よろしくお願いいたします。



保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



落雷に対する注意

落雷などの恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。



他の電気機器への影響について

本機はデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなど他の電気機器を同時にご使用になりますと、雑音や誤動作の原因となることがあります。ラジオやテレビなどの電気機器から充分離れてご使用ください。



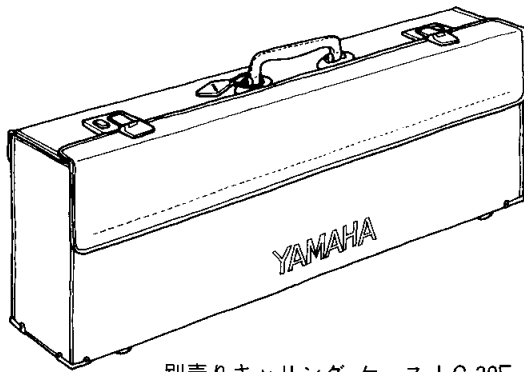
これは電子機械工業会1賞の「エチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

セット・アップ

コンボアンサンブル CE25 には、持ち運びや保存のときに便利なキャリング・ケースと、スタンドをそれぞれ別売り品として用意しています。



別売りキャリング・ケース LG-20E



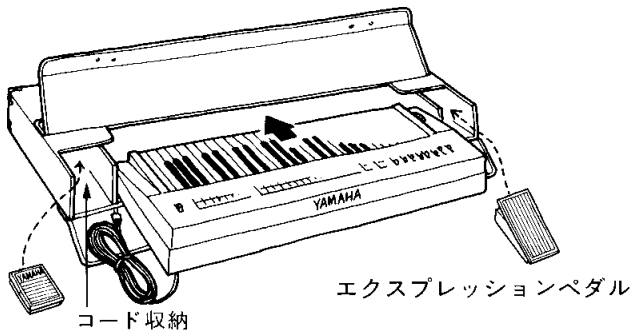
別売りスタンド
キャリング・バッグ付 LG-5

これらをご使用になる時は、次の手順でセット・アップしてください。

■キャリングケースへの出し入れ

キャリングケースには鍵盤側を奥にして図のように収納されています。本体を取り出します。

- コンボアンサンブル CE25 をキャリングケースに収納するときは、図に示す方向に入れてください。

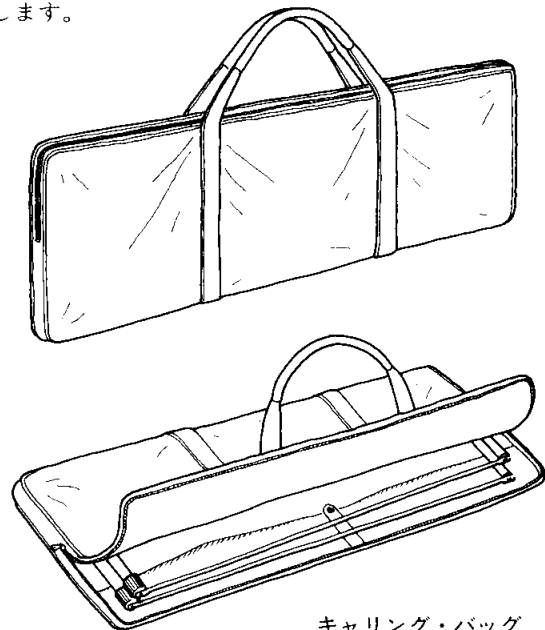


サスティンペダル

- 鍵盤側を奥にして収納してください

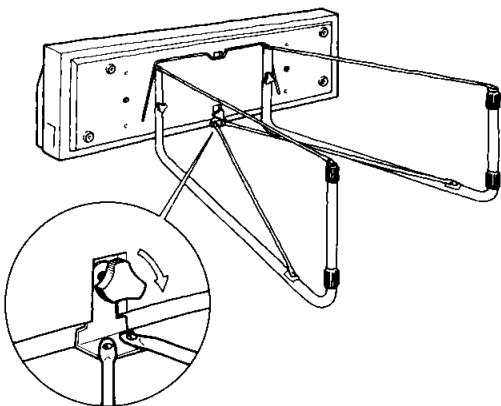
■スタンドの取り付け

スタンドはキャリング・バッグに図のように収納されています。スタンドをキャリング・バッグから取り出します。



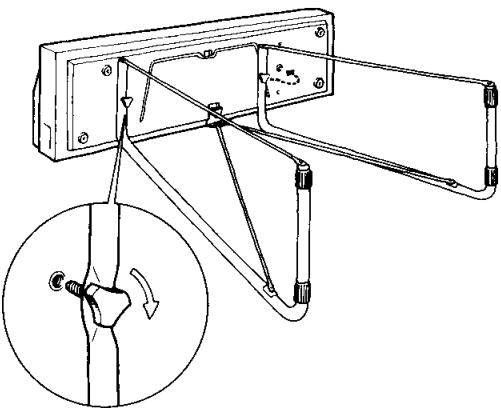
キャリング・バッグ

1. 電源コード側を下にして、本体を図のように横にねかせます。



2. はじめに、スタンドをやや開いた状態にして、ステータ部の取り付けネジを本体中央のスタンド取付穴に締めつけます。このとき、ネジは完全に締めつけなくて、少しゆるみをもたせておきます。

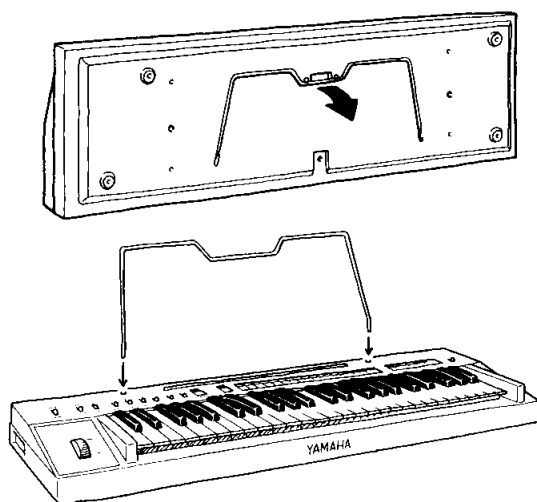
3. つぎに、スタンド取り付け部の2つの突起が、本体のガイド穴にピッタリ合うようにスタンドを広げ、スタンド取り付けネジを締めつけます。



4. 中央および左右の3ヶ所のスタンド取り付けネジを取り付けたあと、ネジを完全に締めつけます。

■譜面立ての取り付け

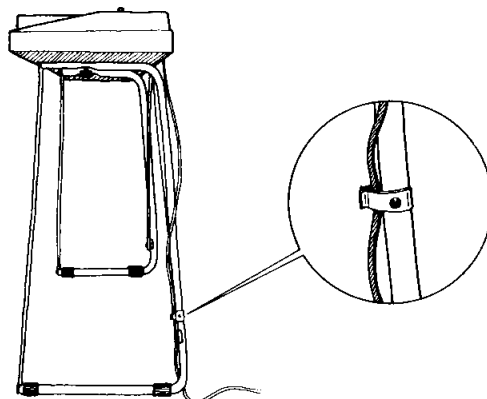
譜面立て金具は、本体裏面に図のように収められています。金具を図の矢印の方向に軽く引くと金具を取り外すことができます。



譜面立て金具は、本体表面の2ヶ所の穴に図のように差し込みます。

■コード止め金具の使用法

電源コード、フットペダルなどのコード類は、スタンドの図に示すコードフック金具にはさんでおきます。



コネクション

コンポアンサンプルCE25にはパワーアンプは内蔵されていません。従って、スピーカーを使用するときはパワーアンプ、スピーカーを接続することが必要です。

●ヘッドホンだけを使用するときは、パワーアンプを接続する必要はありません。

■接続できるアンプ

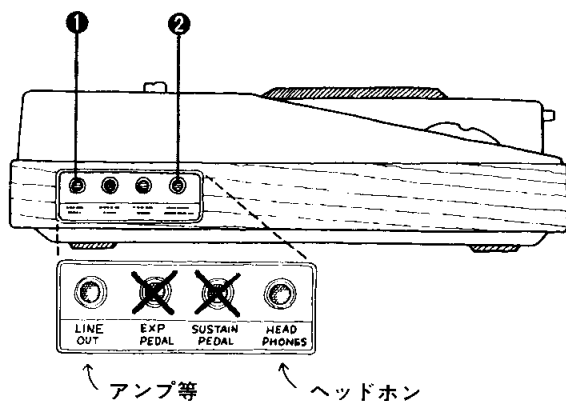
CE25に接続するアンプとしてはキーボードアンプKS50、KS100などが最適ですが、その他接続できるアンプと、端子名を示します。なお、端子の呼称はアンプ等のメーカー、モデルによって異なることがありますので、ご不明の場合は巻末サービス網にお問合せください。

- キーボードアンプ(KS-50等)……INPUTまたはLINE IN
- ステレオ(プリ)アンプ……………AUX端子
- ミキサー……………LINE IN端子
- ラジオカセットデッキ……………AUXまたはLINE IN端子
- エレクトーン……………AUX IN端子

ご注意 アンプ等のMIC端子、PHONO端子には接続できません。

■接続端子

接続端子は、本体の左横部にあります。



①LINE OUT ラインアウト端子

アンプ等は左側のLINE OUT(ライン・アウト)端子に接続します。

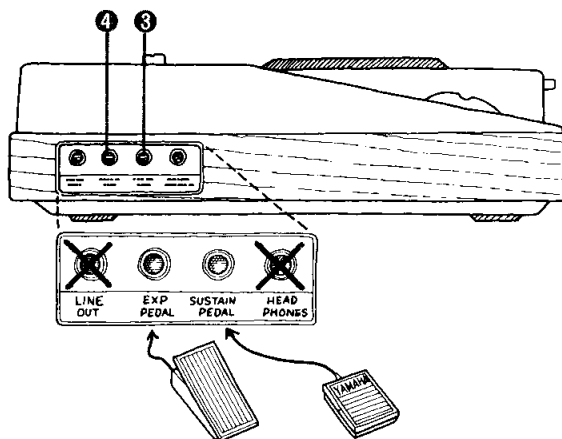
②HEAD PHONES ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。ヘッドホンはステレオ、モ

ノラルのどちらのタイプも接続できますが、出力はモノラルとなります。

■コントロールペダル接続端子

付属のエクスペッションペダル、サスティンペダルを接続して、音量、サスティンのフットコントロールができます。



サスティンペダル、エクスペッションペダルを接続

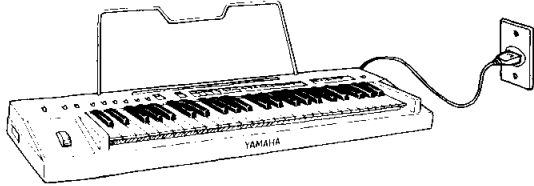
③SUSTAIN PEDAL サスティンペダル

付属のサスティンペダルを接続して、離鍵後に音が余韻をもって消えるサスティン効果をつくることができます。

④EXP PEDAL エクスペッションペダル

付属のエクスペッションペダルを接続すると、音量をフットコントロールできます。これによりフェードイン、フェードアウトや曲の進行に伴い音量を変えるなど、演奏の表情が豊かになります。

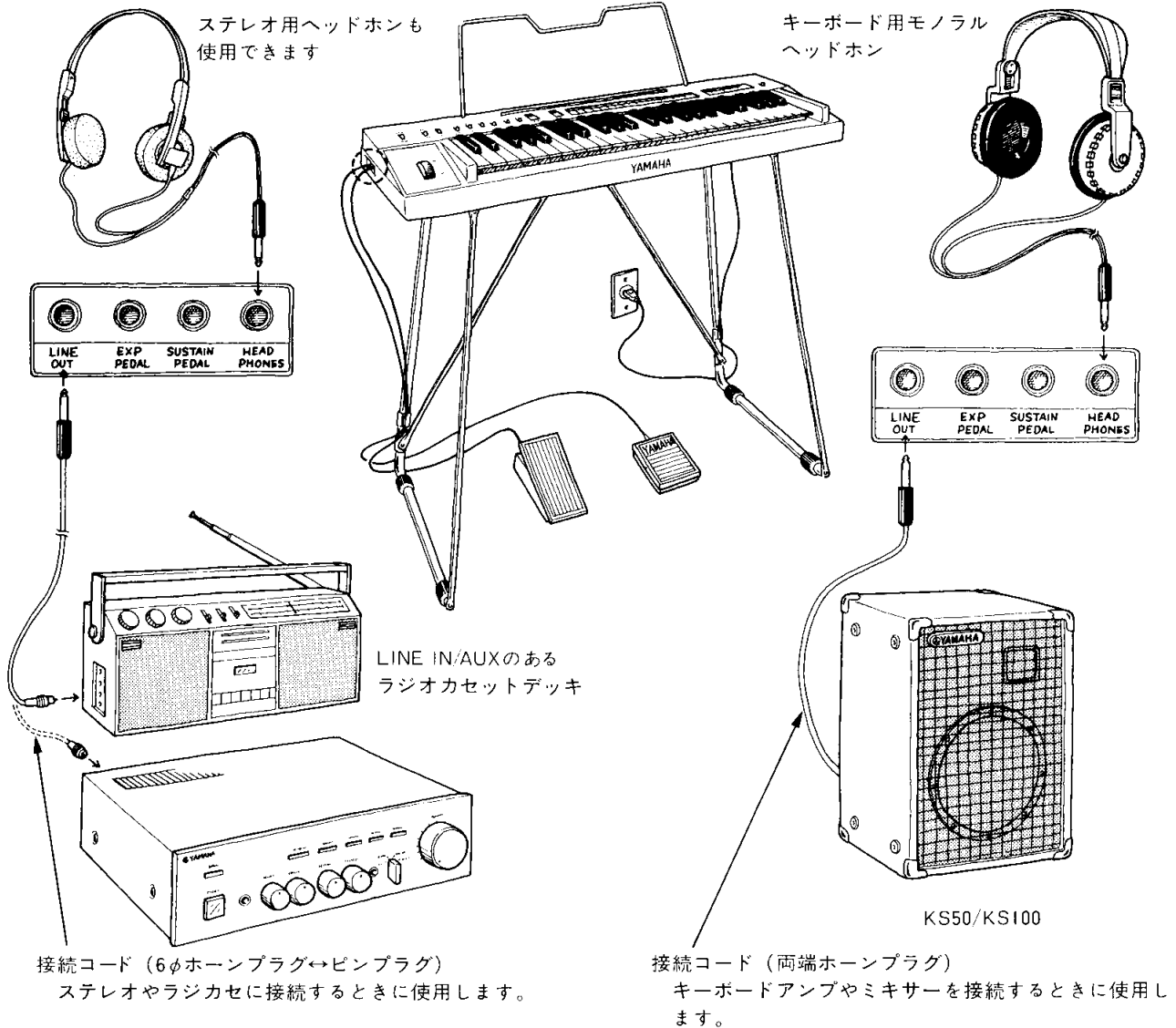
■電源の接続



電源コード

電源コードをAC 100Vのコンセントに差し込みます。

■接続例



レッツ・プレイ

接続が終了しましたら、もう一度誤りがないかどうかをチェックしてください。間違いがなかったら、電源スイッチをONにして実際に演奏してみましょう。



⑤POWER 電源スイッチ

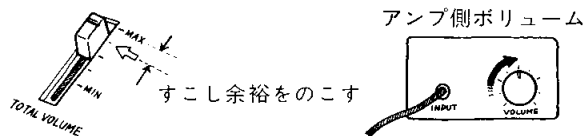
電源スイッチはパネルの最も右端にあります。電源スイッチをONにすると、図に示すように、3ヶ所のインジケーターが点灯します。

これは、BRASS 1の音色にあらかじめセットされている事を示します。

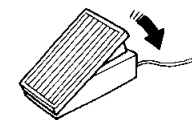
⑥TOTAL VOLUME トータルボリューム

CE25の総合的な音量を調節するレバーです。

電源スイッチをONにした状態で、トータルボリュームを上げるともう鍵盤を弾いて演奏することができます。アンプ側のボリュームは、トータルボリュームを8割ぐらい上げたとき、ちょうど適当な音量になるようにセットします。



●エクスプレッションペダルを接続すると、ペダルによって音量をコントロールすることができます。



エクスプレッションペダル

このとき、トータルボリュームが下がっていると、エクスプレッションペダルを踏みこんでも音量は上がりません。同様にエクスプレッションペダルが踏みこまれていないと、トータルボリュームを上げても音量は大きくなりません。

⑦PITCHピッチ

ピッチを合わせるレバーです。レバーを＋方向に上げるほどピッチは高くなり、－方向に下げるとピッチは下ります。ピッチの可変幅は $436 \pm 2 \sim 447 \pm 2$ Hzです。

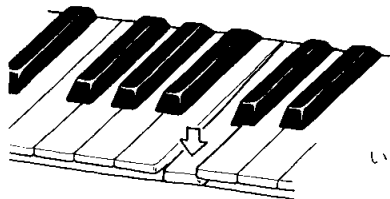
鍵盤 キーボード

コンボアンサンブル CE25は49鍵で4オクターブをカバーします。音域は各ボイスの特性により異なります。

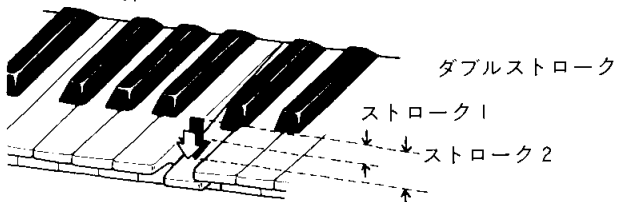
■ダブルストロークキー

鍵盤のストロークは2段階になっており、ゆるやかに弾いた場合一たん止まり、その位置から強く押すと更にしずみます。このダブルストロークキーにより、CE25はタッチコントロールを実現しています。

ゆるやかに弾くと

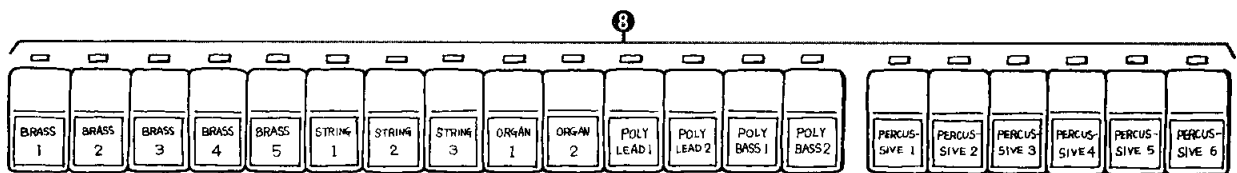


さらに強く弾くと



サウンド・パリエーション

コンボアンサンブル CE25 は先着優先で同時発音が 8 音までのポリフォニックボイスを 20 音色備え、ボイスセクターによりワンタッチで選択することができます。いずれも美しさとリアルさを実現するために、ヤマハが採用した独自の FM 音源方式によって作られた音色です。



⑧ボイスセクター

ブラス 1～5，ストリング 1～3，オルガン 1～2，ポリリード 1～2，ポリベース 1～2，パーカッシブ 1～6 の計 20 音色があります。電源スイッチを ON したときはブラス 1 の音色に初期設定されます。

- 20 音色の内、ストリング 1～3，オルガン 1 を選ぶと SYMPHONIC のインジケータが点灯し、シンフォニック効果のかかった音色となります。

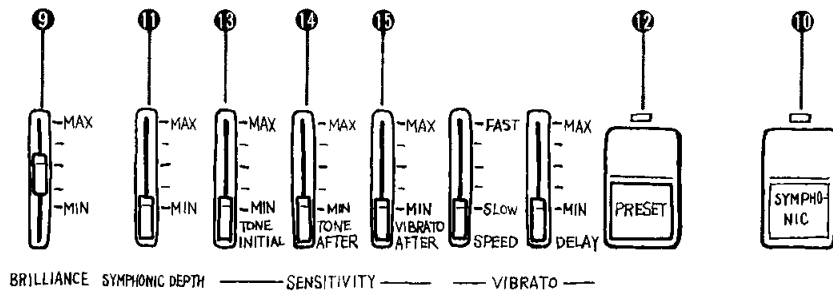
このとき、SYMPHONIC ボタンを押し、シンフォニック効果を解除することができます。また、他の音色にシンフォニック効果をかけることも自由にできます。

■FM音源方式について

- 楽器の音のような一定の周期で同じ波形をくり返しながら生ずる音（楽音）には、多くの周波数成分が入っていますので、スペクトル（その音にどの周波数のどの成分が、どれ位の強さで含まれているか）によっても表わされます。このスペクトル成分の違いによって音色が違います。すなわち色々な周波数の合成によって音色が決定するわけです。
- FM（周波数変調）は、すでに高周波部門の通信、放送の分野で AM（振幅変調）と並び、なじみの深いものです。又、電子楽器においてもビブラート効果として FM の原理が古くから使用されています。この FM を可聴帯域（人間の耳で聞くことのできる音の範囲）で利用し、楽音の持つスペクトル成分の個々のレベルに時間的な変化を与え、色々な周波数を合成し、楽器のもつ音により近づけた技術です。
- 従来の方式（シンセサイザーやエレクトーンで使用されたシステム）を超えた新しい方式であり、本機のもつ音色は今まで不可能であった、より細やかな音色ニュアンスの表現を可能にした画期的なシステムです。

フィンガー・フィーリング

コンポアンサンプル CE25 には合計20のプリセットボイスを、あなたの好みや、フィーリングに応じてさまざまにアレンジすることのできる多くのエフェクターを備えています。



⑨ BRILLIANCE ブリリアンス

ブリリアンスは音色のトリミングを行なうエフェクターです。全てのボイスに対して動き、レバーをMAX側に上げるほど音色は明るくなり、反対にMIN側に下げると音色はソフトになります。

⑩ SYMPHONIC シンフォニック

はなやかで、厚みのあるシンフォニック・アンサンブル効果をつくります。

- ストリングス1〜3とオルガン1に対しては、音色を選ぶと自動的にシンフォニック効果がかかります。

⑪ SYMPHONIC DEPTH シンフォニックデプス

SYMPHONICがONのとき効果のかけ具合をコントロールします。

■ ビブラート & タッチコントロール

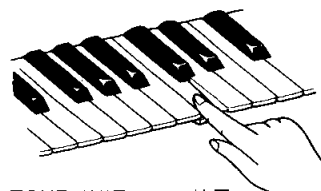
コンポアンサンプル CE25 の最もすぐれた特徴の一つであるキーボードタッチコントロールは、音色や音量またはビブラートを演奏するときのキータッチの強弱によりコントロールする機能です。このため、アコースティックピアノを演奏するときのような、また、フルートやギターなどのビブラート奏法のような演奏テクニックを思いのまま、フィーリングのままに表現することができます。

⑫ PRESET プリセットスイッチ

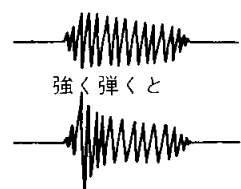
タッチコントロールやビブラートは、20のプリセットボイスに対してあらかじめセットされています。従って、SENSITIVITY、VIBRATOの5つのレバーはコントロールしなくてもプリセットスイッチだけで、これらのエフェクターを使用することができます。

- プリセットスイッチをONにすると、SENSITIVITY、VIBRATOの5つのレバーではコントロールできません。これらのレバーでコントロールするときはプリセットスイッチをOFFにしてください。

タッチコントロール

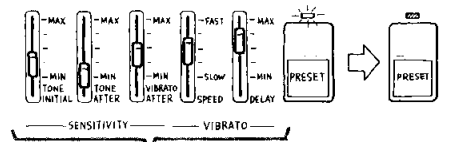


普通に弾くと



TONE INITIALの効果

プリセットの働き

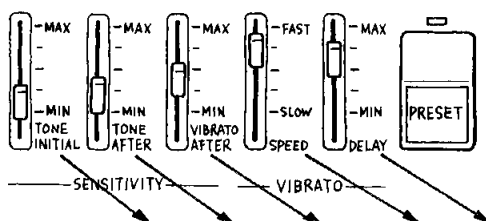


PRESETがONのとき、これらのレバーではコントロールできない

SENSITIVITYのレバーでコントロールするときは、PRESETをOFFにする

■プリセットの状態(参考値)

PRESET スイッチを ON にすると SENSITIVITY と VIBRATO の 5 つのレバーは働かず、内部で設定された下表の状態となります。



| ボイス | TONE INITIAL | TONE AFTER | VIBRATO AFTER | VIBRATO SPEED | VIBRATO DELAY |
|--------------|--------------|------------|---------------|---------------|---------------|
| BRASS 1 | 4 | 5 | 0 | 1 | 2 |
| BRASS 2 | 2 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| BRASS 3 | 6 | 7 | 0 | 3 | 0 |
| BRASS 4 | 8 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| BRASS 5 | 8 | 3 | 0 | 1 | 0 |
| STRING 1 | 4 | 5 | 0 | 0 | 0 |
| STRING 2 | 6 | 7 | 0 | 1 | 2 |
| STRING 3 | 6 | 7 | 0 | 1 | 3 |
| ORGAN 1 | 6 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| ORGAN 2 | 8 | 5 | 0 | 1 | 0 |
| POLY LEAD 1 | 8 | 7 | 0 | 1 | 0 |
| POLY LEAD 2 | 8 | 5 | 10 | 3 | 0 |
| POLY BASS 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| POLY BASS 2 | 6 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| PERCUSSIVE 1 | 4 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| PERCUSSIVE 2 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| PERCUSSIVE 3 | 6 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| PERCUSSIVE 4 | 8 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| PERCUSSIVE 5 | 4 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| PERCUSSIVE 6 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※数値は10のときレバーが最も上った状態と同じで、0のとき最も下にあるときに相当します。

■SENSITIVITY センシティブィティ

タッチコントロールの感度(センシティブィティ)をコントロールするレバーです。これらのレバーをMAX側に上げるほど感度が上がり、弱い力でも強い効果が得られます。

⑬TONE INITIAL トーン・イニシャル

アタックの強さをコントロールします。レバーをMAX側に上げると、鍵盤を弱く弾いたときには弱く、強く弾いたときには強いアタックがかかります。アコースティックピアノの様な効果です。

⑭TONE AFTER トーン・アフター

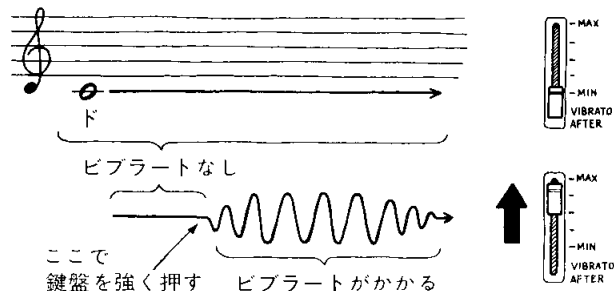
アタックのあと、鍵盤を押している間の音の強さをコントロールします。レバーをMAX側に上げると、鍵盤の押す強さによって音の大きさをコントロールすることができます。

●パーカッシブ1～6のように、プリセットボイスのエンベロープが減衰モードに設定されているときは、トーンアフターレバーをセッティングしても、あまり効果は現われません。

⑮VIBRATO AFTER ビブラート・アフター

鍵盤を押す力の強弱でビブラートの強さをコントロールします。ビブラートのスピードはSPEEDレバー⑰によって決まります。レバーをMAX側に上げ、鍵盤を強く押すと、その強さに応じたビブラートがかかります。

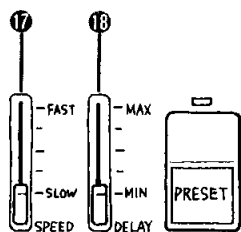
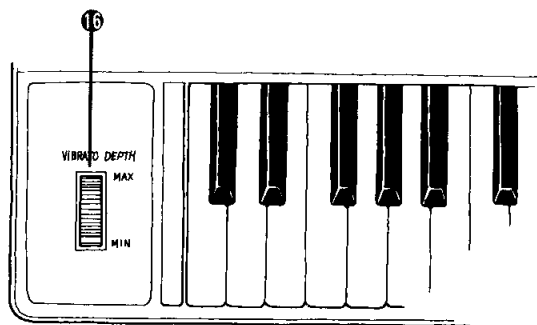
ビブラートアフターの効果



バイブレーション

■VIBRATO ビブラート

ビブラート効果は、タッチコントロールのビブラートアフターによって、指の力に応じた強さでかけることができますが、タッチコントロールとは関係なくビブラート効果をつくるのが次の2つのレバーです。



⑩VIBRATO DEPTH ビブラートデプス

ビブラートの深さをコントロールするホイールです。ホイールをMAX側に上げるほどより深いビブラートがかかります。ホイールをMIN側いっぱい下げると、ビブラートはかかりません。

- PRESETスイッチがONのときでもVIBRATO DEPTHをコントロールできます。

⑪SPEED スピード

ビブラートの速さをコントロールします。レバーをFAST側に上げるほどスピードは速くなります。スピードは約4~10Hzの間で変化します。

- タッチコントロールのVIBRATO AFTERのビブラートスピードもこのレバーで決まります。

⑫DELAY ディレイ

鍵盤を押し、音が出はじめてから、ビブラートのかかりはじめるまでの遅れ時間をコントロールします。この効果をディレイ・ビブラートと言い、よりリアルなビブラート効果が得られます。レバーをMAX側に上げるほどビブラートはより遅れてかかります。

スペック

- 鍵盤.....49鍵, C₂~C₆
- 同時発音数..... 8音先着優先
- 音色スイッチ.....20音色 BRASS 1, 2, 3, 4, 5
STRING 1, 2, 3
ORGAN 1, 2
POLY LEAD 1, 2
POLY BASS 1, 2
PERCUSSIVE 1, 2, 3, 4, 5, 6
- エフェクト.....PRESETスイッチ
SENSITIVITY TONE INITIALレバー
TONE AFTERレバー
VIBRATO AFTERレバー
VIBRATO SPEEDレバー
DELAYレバー
VIBRATO DEPTHホイール
SYMPHONICスイッチ
SYMPHONIC DEPTHレバー
BRILLIANCEレバー
- コントロール.....PITCHレバー 436±2~447±2Hz
TOTAL VOLUMEレバー
SUSTAIN : サスティンペダル使用
EXPRESSION : エクスプレッションペダル使用
- 外部出力端子.....LINE OUT : 600Ω 不平衡
HEAD PHONES : 8~150Ω モノラル(ステレオヘッドホン使用可能)
- その他
- 電源電圧.....100V, 50/60Hz
- 定格消費電力.....25W
- 寸法(W×H×D)841×86×294mm
- 重量..... 9 kg
- 仕上げ.....ABS樹脂, メタリックグレイ色塗装
- 付属品.....エクスプレッションペダル FC-6
サスティンペダル FC-5
譜面立て
トップカバー
- 別売品.....セミハードケース LC-20E
スタンド, スタンドケース LG-5

サービスについて

●保証

CE25の保証期間は、保証書によりご購入から1カ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されている事を必ずご確認ください。無記入の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束申しあげますが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただきますこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合は、お求めになられた販売店あるいは、日本楽器支店の電音サービス係までご持参頂きますと技術者が修理、調整致します。この際、必ず保証書をご提示ください。お求めの販売店から遠方に移転される場合は、事前に弊社支店までご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申しあげますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続きいたします。

●保証期間後のサービス

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

そのほかご不明の点などございましたら、下記ヤマハサービス網までお問い合わせください。



■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

お客様ご相談窓口

| | | | |
|-------------------|----------------|---------|--|
| 東京電音サービスセンター | ☎(03) 255-2241 | 〒101 | 東京都千代田区神田駿河台3-4 (龍名館ビル4F) |
| ・東京ステレオサービスステーション | ☎(03) 255-2241 | 〒101 | 東京都千代田区神田駿河台3-4 (龍名館ビル4F) |
| ・東京電音サービスステーション | ☎(03) 255-2241 | 〒101 | 東京都千代田区神田駿河台3-4 (龍名館ビル4F) |
| ・横浜電音サービスステーション | ☎(045)212-2223 | 〒231 | 横浜市中区本町6-61-1 |
| ・新潟電音サービスステーション | ☎(0252)43-4321 | 〒950 | 新潟市方代1-4-8 (シルバーボールビル) ヤマハ新潟センター2F) |
| 大阪電音サービスセンター | ☎(06) 877-5262 | 〒564 | 吹田市新芦屋下1-16 (千里丘センター内) |
| ・大阪ステレオサービスステーション | ☎(06) 445-6421 | 〒550 | 大阪市西区江戸堀1-9-1 (肥後橋センタービル6F) |
| ・大阪電音サービスステーション | ☎(06) 877-5262 | 〒564 | 吹田市新芦屋下1-16 (千里丘センター内) |
| ・四国電音サービスステーション | ☎(0878)33-2233 | 〒760 | 高松市南新町6-1 (岡田ビル2F) |
| 名古屋電音サービスセンター | ☎(052)231-2432 | 〒460 | 名古屋市中区栄1丁目8-7 |
| ・名古屋電音サービスステーション | ☎(052)231-2432 | 〒460 | 名古屋市中区栄1丁目8-7 |
| ・北陸電音サービスステーション | ☎(0762)43-5341 | 〒921 | 金沢市泉本町7-7 |
| ・浜松電音サービスステーション | ☎(0534)56-9211 | 〒430 | 浜松市東伊場2-14-1 |
| 九州電音サービスセンター | ☎(092)472-2134 | 〒812 | 福岡市博多区博多駅前2-11-4 |
| ・九州電音サービスステーション | ☎(092)472-2134 | 〒812 | 福岡市博多区博多駅前2-11-4 |
| ・広島電音サービスステーション | ☎(082)874-3787 | 〒731-01 | 広島市安佐南区祇園町西原2205-3 |
| 北海道電音サービスセンター | ☎(011)781-3621 | 〒065 | 札幌市東区本町1条9丁目3番地 |
| ・北海道電音サービスステーション | ☎(011)781-3621 | 〒065 | 札幌市東区本町1条9丁目3番地 |
| 仙台電音サービスセンター | ☎(0222)22-6144 | 〒983 | 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル |
| ・仙台電音サービスステーション | ☎(0222)96-0249 | 〒983 | 仙台市卸町5丁目7 (仙台卸商共配送センター3F) |

お預り品修理拠点

| | | | |
|--------------|----------------------------------|------|------------------------------|
| ・東京電音サービスデポ | ☎(03) 904-4986 ☎(03) 904-4901 | 〒171 | 東京都練馬区高野台2-3-10 |
| ・大阪電音サービスデポ | ☎(06) 877-5262 | 〒564 | 吹田市新芦屋下1-16 (千里丘センター内) |
| ・名古屋電音サービスデポ | ☎(052)231-2432 | 〒460 | 名古屋市中区栄1丁目8-7 |
| ・九州電音サービスデポ | ☎(092)472-2137 | 〒812 | 福岡市博多区博多駅前2-11-4 |
| ・北海道電音サービスデポ | ☎(011)781-3621 | 〒065 | 札幌市東区本町1条9丁目3番地 |
| ・仙台電音サービスデポ | ☎(0222)96-0249 | 〒983 | 仙台市卸町5丁目7 (仙台卸商共配送センター3F) |

本 社

〒430 浜松市中沢町10-1 ☎(0534) 65-1111 営業技術部 電音サービス課



- | | | | |
|---------|---|-------|---|
| 本社・工場 | 〒430 浜松市中沢町10-1 TEL. (0534)65-1111 | 神戸店 | 〒650 神戸市中央区元町通2-7-3 TEL. (078)321-1191 |
| 東京支店 | 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル内 TEL. (03) 572-3111 | 四国店 | 〒760 高松市丸亀町8-7 TEL. (0878)51-7777 |
| 銀座店 | 〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL. (03) 572-3131 | 名古屋支店 | 〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. (052)201-5141 |
| 渋谷店 | 〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル内 TEL. (03) 476-5441 | 九州支店 | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. (092)472-2151 |
| 池袋店 | 〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL. (03) 981-5271 | 福岡店 | 〒810 福岡市中央区天神1-11 福岡ビル内 TEL. (092)721-7621 |
| 池袋東ショップ | 〒170 東京都豊島区東池袋1-30-1 フランスウィックスポーツガーデン内 TEL. (03) 983-9914 | 小倉店 | 〒802 北九州市小倉北区魚町1-1-1 TEL. (093)531-4331 |
| 茗荷少楽堂 | 〒180 武蔵野市吉祥寺本町1-10-1 いなりやビル内 TEL. (0422)21-7182 | 北海道支店 | 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目ヤマハセンター TEL. (011)512-6111 |
| 横浜店 | 〒220 横浜市西区南幸2-15-13 TEL. (045)311-1201 | 仙台支店 | 〒983 仙台市原町南目薬師堂北2-1 TEL. (0222)95-6111 |
| 大阪支店 | 〒542 大阪市南区末吉橋通4丁目8番地 心斎橋プラザビル東館(八、九階) TEL. (06) 252-1111(代) | 仙台店 | 〒980 仙台市一番町2-6-5 TEL. (0222)27-8511 |
| 心斎橋店 | 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL. (06) 211-8331 | 広島支店 | 〒730 広島市中区基町13-13 平和生命広島ビル内 TEL. (082)221-4122 |
| 梅田店 | 〒530 大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビル内 TEL. (06) 345-4731 | 広島店 | 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. (082)248-4511 |
| | | 浜松支店 | 〒430 浜松市田町32 東京海上ビル内 TEL. (0534)54-4116 |
| | | 浜松店 | 〒430 浜松市鍛冶町122 TEL. (0534)54-4111 |

